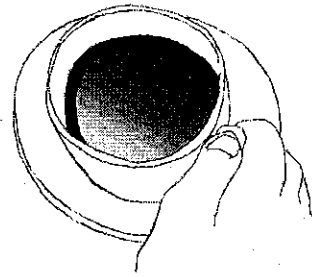


10/31(土)まじで！倫理号です、10月も今日で終わります、毎週1日1冊
通して頂いてます。自分でも良く分らないが、良い身体が働きます
有難い事です。

幸せ運ぶアホ鳥

十月のテーマ

気づきを活かす



え・古屋智子

「急々型」に 成功への道あり

突 然の困難に見舞われても逃
げることなく、時に先頭に

立ち、周囲を鼓舞できるようなリ
ーダーシップを発揮して成功を収
めることのできる人は、どのよう
な人でしょう。

成功者と呼ばれる人たちには、
様々な共通点があります。

私たちが学ぶ純粋倫理において
は、「気づいた時、気がるに、喜ん
で、さっと処理する」「気づくと同
時に行なう」というように、「気づ
き」を活かし、すぐ実行に移すと
ころに成功の秘訣があると説いて
います。

「武士道とは死ぬことと見つけた
り」の一文で知られる、武士の心
得を説いた江戸時代中期の書物
『葉隠』には、物事を即行動に移
すことの重要性が書き記されてい
ます。

それによれば、人は「急だらり」
「だらり急」「急々」「だらりだら
り」の四つのタイプに分かれるそ
うです。

①急だらり型…理解は早いが実
行が遅い。

②だらり急型…理解は遅いが実
行は早い。

③急々型…理解は早く実行も早
い。

④だらりだらり型…理解も実行
も遅い。

『葉隠』には、「急々が最上で、な
かなかそういう者はいない」と記
されています。

「理解」を「気づき」に置き換え
て、自分の生活を振り返ってみる
と、いかに「気づき」を疎かにして
いるかがわかるはずですよ。

例えば、朝、せつかく目が覚め
たのに、いつまでも布団の中でグ
ズグズしている。歩いていて、ゴ
ミが落ちていることに気がついて
も拾わない。自分の視界に相手が
入ってきていても、自ら進んで挨拶
をしない。呼ばれていることに
気がついていないのに返事を返さな
い…などです。

私たちの脳は、何かをするとき、
ちようどよいタイミングで気づく
ようになっていきます。気づいてい
るのにそれを放っておいて行動に
移さないということは、その好機

を逃していることに他なりません。
では、「気づき」を活かし、人生
の成功者になるためには、どのよ
うな行動を起こしていけばいいの
でしょうか。

それはとてもシンプルなこと
です。気づいたらすぐする「即行」
の実践に徹することです。

例えば、次のような事柄を実践
してみましよう。

◎朝、目が覚めると、すぐ起き
る。

◎サツと顔を洗い、サツと食事を
済ませて、サツと出勤する。

◎仕事が終われば、ぐずぐずせ
ずにサツと退社する。

◎人から教えられたことは、す
ぐに実行する。

◎手紙の返事はすぐに書く。

◎仕事を明日に残さない。

◎用件を後回しにしない。

◎出足、引き足を早くする。

今この瞬間が、それをするのに
最も良い時機であるという「気づ
き」を大いに活かし、職場でも、日
常生活でも、充実した日々を過
していききたいものです。